

37 日本に自生する菌根性きのこ であるトリュフの人工的発生



WebA°-ジ°

技術のポイント

日本に自生するトリュフの一種であるホンセイヨウショウロ菌を共生させた苗木を、国内各地の試験地に植えて栽培管理しました。その結果、最短で植栽3年7ヶ月後にきのこ(トリュフ)が発生しました。遺伝情報に基づく解析の結果、試験地に植えた苗木に共生させたトリュフ菌がきのこを形成したことが判りました。継続して調査すると、その翌年にも同じ試験地でトリュフが発生しました。



図1 ホンセイヨウショウロ(国内自生種の白トリュフ)が人工的に発生しました

ホンセイヨウショウロ共生苗木を植栽した後に子実体(きのこ)が発生しました。

連携・橋渡しの方向

安定的にトリュフを発生させる技術を開発した上で、各地でのトリュフ菌共生苗木の植栽試験を行います。

詳細情報

・プレスリリース：

「国産トリュフを人工的に発生させることに成功した」

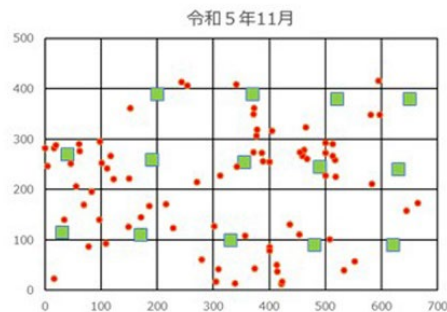
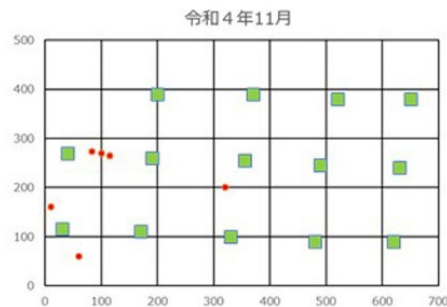
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2023/20230209/>

「国産白トリュフを継続的に発生させることに成功した」

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2024/20240129/>

担当者

東北支所・山中高史



●：ホンセイヨウショウロ発生位置，■：トリュフ共生苗木植栽位置

図2 トリュフは2年目も継続して発生しました

京都府内の試験区でのホンセイヨウショウロの発生は、令和4年は試験区内の左側のみでしたが、令和5年は試験区全体に広がりました。

■ 謝辞

本研究は、農林水産省農林水産技術会議事務局委託研究プロジェクト「森林資源を最適利用するための技術開発」における研究課題「高級菌根性きのこの栽培技術の開発」(H27～R1)および生物系特定産業技術研究支援センターによるイノベーション創出強化研究推進事業研究課題「国産トリュフの林地栽培に向けての技術体系の構築」(R4～R6)により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>